

平成29年度 学校自己評価システムシート（学校法人佐藤栄学園 さとえ学園小学校）

目指す学校像	本学建学の精神「人間是宝」の理想を具現化した教育の実践。
--------	------------------------------

重点目標	1. 本校教育の基本方針に基づき、計画的且つ円滑な教務・校務業務の遂行。 2. 「本当のリーダーを育てる学校」を具体的な目標として共通理解を進め、その具現化に向けての授業作り 3. 学校と家庭との連携「共育」を軸に、信頼関係を保つ学校運営。
------	--

達成度	A	ほぼ達成
	B	概ね達成
	C	変化の兆し
	D	不十分

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	教務・進路入試センターの分掌（担当）において業務が進められているが、学校運営の根幹を担っている上記分掌が効率的に行われているかを確認。また、その他の分掌・係との連携によって、学校運営が円滑に行われているかを確認。	分掌ごとに業務計画・学期ごとの業務報告に評価項目を具体的に記載。	年度初めに各分掌が年間業務計画を立案。各学期末に業務報告を行い、目標達成度、現状における課題を見つけ、その方策を立てて次学期の業務遂行に反映させる。	各分掌が計画的に業務を遂行。また、学期末ごとに現状を把握し、次学期には改善を行った。	B	より良い円滑な業務遂行のために、次年度は業務の指示系統・各書類の流れを一元化し迅速且つ漏れの無いようにしたい。『進路入試センター』と教務との連携のとれた業務の遂行。
2	教科会・特色教育・複合型教育・課外活動・研修・児童会等の各分掌において、「本当のリーダーを育てる学校」を念頭に置きながら、教育目標の実践と学習指導と生活指導の一体化を推進することを通して、子どもの内在する可能性を拓く。新学習指導要領の完全実施に伴う適切な取り組み。	分掌ごとに業務計画・学期ごとの業務報告に評価項目を具体的に記載。	年度初めに各分掌が年間業務計画を立案。各学期末に業務報告を行い、目標達成度、現状における課題を見つけ、その方策を立てて次学期の業務遂行に反映させる。 また、年に2回の保護者との個人面談での意見や、授業参観日に行なわれるアンケートを参考としてこれまでの各業務の現状を修正。 校内研修を頻繁に行い、日々の授業改善、教育技術の向上を図る。	各分掌が計画的に業務を遂行。また、学期末ごとに現状を把握し、次学期には改善を行った。	B	「本当のリーダーを育てる学校」の具現化のための具体的な教育実践を多く取り入れる。そごう的な学習の時間の整備、英語科の習熟度別授業・体験学習など教える側(教師)に立つ学習の展開ではなく、学習の主体である子どもの側に立つ学習を推進する。 新学習指導要領に対応した教育課程・ICTの積極的活用『学習の手引き』の検討・作成。 体験学習の充実。
3	保護者に対する様々な情報の発信、保護者の参加する学校行事、保護者会活動の充実。 学園後援会活動に際して、保護者・教職員により一層の積極的な活動参加により信頼を保った学校運営を行う。	分掌ごとに業務計画・学期ごとの業務報告に評価項目を具体的に記載。	年度初めに各分掌が年間業務計画を立案。各学期末に業務報告を行い、目標達成度、現状における課題を見つけ、その方策を立てて次学期の業務遂行に反映させる。	各分掌が計画的に業務を遂行。また、学期末ごとに現状を把握し、次学期には改善を行った。	B	保護者会活動については、事前に年間計画を立て、多くの保護者が主体的に開かれた活動に参加出来るようにする。
その他	本校に於いては、上記の重点目標のほかに 施設設備・備品管理・視聴覚機器・情報機器・環境美化・防災教育・学校保健・事務(経理・庶務)などの校務分掌にて独自に目標を設定し、各学期末に業務報告を行い、次学期・次年度への課題・改善策を講じている。					

学校関係者評価
実施日 平成30年6月1日
学校関係者からの意見・要望・評価等
担当教諭が変わったことにより、一連のスムーズな流れに支障の出ないようにお願いしたい。 進路入試センターの情報開示を明確にし、次年度へのスムーズ化を目指していただきたい。 家庭学習・保護者の指導に関係のある内容は伝えていただきたい。
学校内の施設を有効活用し体験して学ぶことから知る知識を最大限に生かす授業の取り入れをお願いしたい。 複合型教育についてはさらなる教育目標を立て、もっと踏み込んだ内容に特化したものにしていただきたい。 学習指導と生活指導の一体化は重要なので、さらに具体化し継続してもらいたい。
保護者会活動についてはもっと積極的な主体性を持った全員参加型を希望する。 保護者一同が学校への興味を増すことができるよう、明るい保護者会活動を心がけたい。 学校側のサポート、理解に助けられており、良い関係にある。
設備修復について速やかに行っていると思います。 改善を講じているため特に問題ないと思う。 ここ数年学校と保護者の共育について、個々においては理解していただいているが、結論での理解各論では自分勝手さが見られる。 ICT導入は重要だが、無理せず計画的にお願いしたい。